



「恵まれた環境を生かして」

財光寺中学校 校長 重盛 文人



4月に財光寺中学校に赴任しました。前任の勤務先でも「日向市と言えばキャリア教育だよ」という職場で会話があるくらい、県内初のキャリア教育支援センターを開設した日向市はキャリア教育のフロントランナーと考えていました。予想どおり、「よのなか教室」の実施や教材である「日向市のいろんな産業 いろんな会社 いろんな仕事」の配付など、実にキャリア教育を進める上で最適な環境にあると実感しました。

本校でもキャリア教育支援センターをはじめ、様々な関係機関の協力等をいただきながら、キャリア教育を進めています。年度当初、私が職員にお願いしたのは、日頃の授業等の充実です。子供が目を輝かせるような授業をすることで、学ぶことの大切さを実感させることがキャリア教育の第一歩と考えております。引き続き恵まれた環境の基、地域に根ざしたキャリア教育の充実に努めてまいりたいと考えております。

「よのなか教室」の重要性

日知屋東小学校 校長 平田 哲



今年4月に本校へ赴任し、6年ぶりに日向市の小学校で勤務することになりました。6年前は、「キャリア教育支援センター」も開所したばかりで、「よのなか教室」もまだ軌道に乗る前だったと記憶しています。今年度当初に説明を受けた時には、よくここまで発展したものだと思心させられました。

私が、日々子どもたちを見て改めて感じるのは、キャリア教育の重要性です。進むべき道が明確になれば、頑張る意欲が高まります。キャリア教育(よのなか教室)を通して、自分の夢をもち、何のために学ぶのか分かり、様々なことに一生懸命取り組む子どもたちが増えていくと思います。

また、日向の大人(先生)から学ぶという経験は、自分たちは地域の方々に育てられているという実感をもつこととなります。ふるさと日向が大好きで、誇りに思う気持ちを育むことにもなります。この経験を通して、将来は自分も日向のために尽くしたいという子どもたちが増えることを期待しています。

「子供たちの夢が叶う地域作りを考える」

日向商工会議所青年部 会長
有限会社えびはら商会 代表取締役社長 蛭原 朋也

日向商工会議所青年部(日向YEG)とは20~45歳までの経営者、後継者、管理職にあたるメンバーで形成された青年経済団体です。

現在、日向YEGには80名のメンバーが在籍しておりますが、同様に80の事業所の集まりです。

10年程前にYEGで発行したH15という冊子を読み返しておりました。これは15歳に向けて贈ったYEGメンバーの事業紹介のフリーマガジンであったのですが、中学生へのメッセージの欄に、私は『友達を大切にしたい』と書いてありました。私は10年程日向市を離れておりましたが、帰省して実家の家業を継いだ時には本当に周りの仲間に助けられました。仲間がいるからこそ一緒に日向市を盛り上げたいというのも地元で就職する大きな理由の一つであると私は考えます。

地域の将来を担う次世代の育成は地域で生きるYEGにとって重要な役割であると考え、今後もキャリア教育に携わっていきたいと思っております。

「挑戦することの素晴らしさ」

日向商工会議所女性会 会長
高千穂グリーン株式会社 代表取締役社長 黒木 絹子

「よのなか先生」に携わることで、これまで生きてきた時間を改めて考え、思い起こす機会となりました。父の後を継ぎ、2代目として30年が過ぎました。

ある時、母と同世代(80歳代)の女性に出会い「近頃、習い事を始めたのよ。とても楽しいわよ。何でも始めるのに、決して遅いことないわよ。」と言うお話を聞いて、挑戦することの素晴らしさに感動しました。造園業の道を歩んでいる中で、見習いたいと痛感いたしました。

「よのなか先生」で富島高校に行った時のことです。ある女性の生徒さんからの「造園や土木は女性には無理な職業と思っていたけれど、考え方が変わりました。」と言う、とても嬉しいコメントをいただきました。可能性は無限であり、技術を身に付けることの素晴らしさを伝え、そして一人でも多くの技術者が育つよう手助けできたらと考えています。

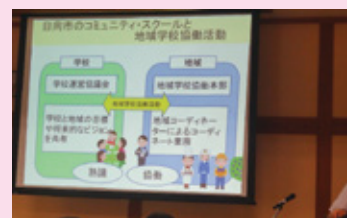


「令和3年度 第1回 三位一体の教育 ～ひゅうが学びの学校～研修会」開催

日向市教育委員会主催の研修会が各学校の担当先生たち参加のもと、さる5月21日(金)に大王谷コミュニティセンターにおいて開催されました。

コミュニティスクールの土台となる学校運営協議会の全校配置に伴い、以下の協議会で熱心な議論がなされました。

- 1.委員の選出について
- 2.「学校運営協議会」について地域や家族への周知
- 3.「学校運営協議会」を活かした「働き方改革」
- 4.委員の主体性を高める「学校運営協議会」の運営



また、大王谷学園では学校組織の中に新たに「CS部」を設置して、商工会議所或いは区長会等との接点を持ち、連携を保つことでコミュニティスクール運営を行うとの報告もされていました。

ロータリークラブ青木さん表彰

伊勢ヶ浜保育園の青木雅矢さんが国際ロータリー第2730地区 日向東ロータリークラブより「職業奉仕」の社会貢献尽力者として、この度表彰されました。

青木さんは毎年「よのなか教室」において各学校に出向き、子供たちに職業講話をしていただいていることが認められ受賞されたものです。

ロータリークラブ会長 江川昌義さんは青木さんのこの「よのなか先生」の活動を「まさに表彰に値する活動で、今後、彼のような方がもっと増えていってもらうことを期待したいですね」と語っておられました。

青木さんおめでとうございます。



2021/06/01撮影



「ホタルが教えてくれたこと」

去る6月24日(木)に塩見小学校において「よのなか先生」の吉田 巧さんによる表題の「よのなか教室」が開催されました。

吉田さんは門川高校でホタルの養殖に関わっておられた経験を活かし、ホタルの生い立ちから死んでいくまでのお話をユーモアを交えながら子供たちに話されました。子供たちも初めて聞くホタルの生態について目を輝かせて熱心に聞き入っている様子でした。

また当日は、塩見川のホタル生態系保存に尽力されている地元の松木通雄さんも参加されており、改めて地域を挙げての取り組みに頭の下がる思いがいたしました。



キャリア教育教材 『2021年度版 日向市の いろんな産業 いろんな会社 いろんな仕事』

日向市では、2020年に引き続き、子供たちの未来づくりのための「キャリア教育教材」を市内の中学2年生全員(14歳)に無料で配布いたしました。

本教材は、①日向市にどんな会社があるのか ②その会社がどんな仕事をしているのか ③その会社で働く人の仕事に対する思い ④その会社の地域の社会活動などを紹介しています。

本教材を作成するにあたりご協力いただきました各企業の皆様、企画をしていただいている藤屋印刷様に紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

日向市キャリア教育支援センター

